

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2018 年 7 月 27 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府乙訓郡大山崎町小泉1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 取締役社長 西原 昭二

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015年度版
適 用 範 囲	日立ビークルエナジー（株）東海事業所 ・ 京都事業所
導 入 年 月 日	2015 年 8 月 20 日
認 証 番 号	EC96J1078
基 本 方 針	①環境関連法令の順守と汚染の予防 ②環境管理機能の整備と継続的改善 ③製品のライフサイクルに亘るグローバルなモノづくり推進 ④生態系の保全 ⑤教育訓練、意識の向上 ⑥情報の開示
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	地球温暖化防止を図るため省エネルギーの推進/化学物質管理の徹底と廃棄量削減を推進
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none">・生産効率向上によるエネルギー削減・設備改善、グリーン化による充放電不良(廃棄電池)の低減・注液不良率低減と負極DTトリム巻取りプロセス改善による廃棄物の低減・省エネ運転の推進による電力使用量削減
目標を達成するための取組の進捗状況	エネルギー削減、廃棄物排出量の削減 ・不良品、及び廃電解液等の削減を実施中 省エネ運転の推進 ・コンプレッサの運転台数適正化 ・室内外負荷に応じた除湿機の適正管理実施中
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画通りに取り組むことが出来ている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	遵守状況は1ヶ月に1回確認を行っており、これまで違反及び行政当局からの指摘は無し。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年に1回マネジメントレビューを実施している。 平成29年度の目的・目標は達成し、成果が見られた。 平成30年度もさらなる目標達成に向け、同一テーマを継続して運用する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。